



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和4年10月④
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobb.jp



◆仏教では“中道”



「行動」と「熟考」。

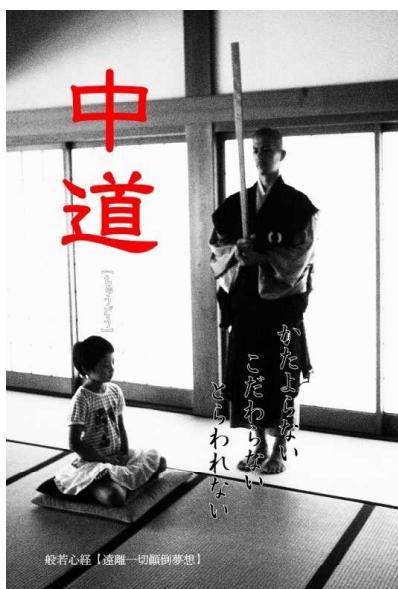
そのあいだで上手く
バランスを取らなく
てはいけません

エリザベス2世



70年にわたり君主の座にあったエリザベス女王が亡くなられ、その葬送の様子が詳しく伝えられました。歴史書に残る大きな出来事にかかわることはもちろん、国民あるいは家族とのふれあいなどからもエピソード多々あり、その中で、名言もたくさん残されました。

バランスを取るということは、仏教では「中道」とつながると思います。中道とは偏った両極端ではない中間



の道と仏典に出てきます。執着をなくしこだわりのない生き方と紹介されることもあります。「中庸」という言葉もあります。これは儒教の考え方ですが、いずれにしても、中途半端とか、いい加減、どちらつかずといったマイナスイメージの言葉で無いことは当然

で、その教えを実践することは、たやすいことではないと考えます。

蛇足ですが、エリザベス女王に続き報じられた最近の訃報でおやつと思ったことがあります。

曹洞宗大本山總持寺で闘観院機魂寛道居士との

戒名をいただきましたアントニオ猪木氏。総持寺には猪木家の墓所もあるようです。

落語家の三遊亭楽太郎師匠の戒名は、泰通圓生上座。上座とは、得度をして僧侶としての位階をお持ちであると言うことです。

さらに安倍晋三氏の実家の菩提寺は長安寺だとか。山口県にある浄土宗寺院だそうです。

◆「トイレの神さま」ならぬ…

今から12年前の平成22年、「トイレの神様」という歌がヒットしました。シンガーソングライターの植村花菜の作品で、老若の世代を越えて受け入れられました。



烏枢沙摩明王

トイレの神さまの正体という「烏枢沙摩明王(うすさまみょうおう)」という名も多くの人に知られました。

先日、あるお宅で古い湯殿を取り壊すということで、その作事法要をお勧めしました。その昔、賓客がお使いになったという一間半四方の独立した建物でした。

僧堂では入浴も修行のひとつ。入浴前後には、浴室の守り本尊として祀られている「跋陀婆羅菩薩(ばっだばらぼさつ)」の前で入浴の偈をお唱えしあ拌をします。



跋陀婆羅菩薩

跋陀婆羅菩薩は、お風呂の供養を受けた際、自己と水が一如であることを悟ったと、經典に記されています。お湯をかき混ぜる権を持っていて特徴です。

この度、取り壊された湯殿には、床柱や床の間のある脱衣室がありました。その雰囲気から、もしかしたら跋陀婆羅菩薩が祀っていたかもしれませんと感じました。